

正副議長定例記者会見（令和6年6月定例会）

日時：令和6年7月10日（水）13：30～13：47

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

三宅議長



松尾副議長



（時事通信社：幹事社）

定刻になりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は13時50分までとさせていただきます。

まず初めに、議長から挨拶をお願いします。

（議長）

6月の定例会を閉じましての定例記者会見でございます。どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

私としては、議長に就任して初めての定例会ということになりました。今回の議会では、6月補正予算におきまして、能登半島地震等を踏まえた、大規模地震に備えた防災・減災対策、また、エネルギー価格や物価高騰への対応、物流の2024年問題、海外との交流人口をどう拡大していくか、こういった重要課題への対応強化など、差し迫った課題に適切に対応できたのではないかと、受けとめているところです。

さらに、少子高齢化、農林水産業の振興、また教育の問題、これら種々の問題についても活発な質疑を議員各位には行っていただいたところであり、かなり議論を深めていただけたと受けとめ、評価をしているところであります。

また、マスコミの皆さんにおかれても熱心に取材もしていただいて、県民の眼として、しっかりと取り組みをいただいたことに、本当に心から感謝を申し上げたいと思っております。以上、冒頭の挨拶に代えます。

（時事通信社：幹事社）

続いて、副議長から挨拶をお願いします。

（副議長）

私自身も副議長に就任し、初めての定例会でありました。議長の補佐役として、しっかり務めを果たせたのではないかと思いますし、副議長も出席する委員会質疑においても、新たなメンバーでの委員会でありましたが、それぞれの委員会において、今日の委員長報告にもありましたように、しっかりと議論していただいたのではないかと思います。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。代表質問がありますので確認したいと思います。

本議会では、風俗案内所に対する規制を盛り込んだ条例案が審議されました。罰則規定を伴う条例案であります。本日、本会議や委員会では、どのような意見が出て、どういう判断で可決に至ったのか。今議会での議論を振り返り、議長の見解はどうかです。これについて、まず議長からお願いします。

(議長)

風俗案内業の規制に関する条例ということで、一般質問において、人口が一番多い松山の繁華街ということで、特に番町・八坂地区が中心になりますが、コロナ禍以降、人流の回復傾向、相当これが強まってまいりました。それはいいことなんですが、反面、非常に派手な外観の風俗案内所や、強引な客引き、こういったことも目立つようになってきました。また、違法な客引きやぼったくり、こういったことも、いろんな相談が寄せられているとお聞きをしております。明らかに体感治安は悪くなっている。また街のイメージも相当ダメージを被っている。そんな懸念が、いろいろな議員から意見があったところでもあります。

それが一般質問で、触れられたところですが、去年の番町・八坂地区の犯罪の増加率は、県全体と比べて、約2倍と非常に高くなっており、また検挙率は約30%ということで、全県で比較すると低いとのことでございます。

この風俗案内所が、景観を全く無視した非常に派手な装飾電球の点滅や騒音をはじめ、何といたってもビジュアルの部分で、性的な感情を刺激するようなパネルが掲示されていたということで、明らかに青少年の健全育成という点においては、有り得ない。そういうことが、街中で起こっていたということです。これは、住民の不安とか、不満感、不快感、相当あると思いますが、県内だけではなく、県外から来られる旅行者に対しても、相当不愉快であろうと思っております。そんなことがいろいろ議論もされ、今回の条例では、行政処分や罰則にも踏み込んだ規定が設けられることになっております。

本会議や委員会においても、徹底的に審査したが、全国における風俗案内所の規制状況や条例が施行されることでどんな効果が期待できるのか、といった議論が行われました。そういったことを経て、可決されたものと受けとめております。

これからは、風俗環境が正常なものとなり、保持されるということ。それがなければ、青少年の健全育成というのは、なかなか難しいと思います。そういった悪影響、これを防止するという点で、この条例の果たす役割、大事だと思っておりますので、今日可決された条例がしっかりと効果を発揮していくことを期待したいと思っております。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。続いて副議長からお願いします。

(副議長)

今、議長が申し上げたとおりでありますけれども、今回、新しく条例ができて、新たに罰則付きで規制された部分というのが、私は大きな意義があると思います。聞くところで言うと、これまで何の規制もないまま案内所が、いたるところにできており、店舗数も相当増える中、観光客の皆さんから見ても、子どもたちが歩きながら見ても、いい環境にあるとは思ってなかったところを、規制がちゃんとできたということは1つ大きな意義だったと思います。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。ただいまのお答えについて、質問があれば各社の方からお願いします。なお、質問に対しては、社名及び記者名をお願いします。

(愛媛新聞)

すいません。愛媛新聞です。手続き的なとこなんですけど、この条例を作るにあたって、いつから条例案の作成であるとか、例えば、どれぐらいかけて作ったとかって言うのは言えるのでしょうか。

(議長)

時系列のものは、今手元に持っていませんが、かなり時間をかけた印象はあります。街中がこんな風になっているぞ、という声は結構前からありました。

(愛媛新聞)

コロナが明けてからというイメージでいいでしょうか。

(議長)

明けてからはっきりしたけれど、それまでもそういう看板が増えていたのは事実です。これは、それぞれの議員個人のところも、それぞれの支援者などからいろんな声が寄せられていたようです。

(愛媛新聞)

わかりました。

(時事通信社：幹事社)

それではその他の質問がございましたらお願いします。

(愛媛新聞)

愛媛新聞です。先日、徳島県議会で、選択的夫婦別姓の議論を活性化するように、意見書が出たところですが、愛媛県議会、特に議長、副議長、これについてはどのように

考えてらっしゃるのか教えていただいてもよろしいでしょうか。

(議長)

おっしゃる通り、7月3日に徳島県議会において、意見書が賛成で、通ったということは承知しています。それぞれの県議会で、それぞれ経緯がある中で、いろんな議論があると思うので、他の議会で決定したことにコメントするというのは私としては差し控えたいと思っています。

また、愛媛県議会の同様の取り組みとしては、平成22年と記憶をしておりますけれども、この選択的夫婦別姓法案提出について慎重な対応を求めるという趣旨の意見書を出したところですが、その後、特段の議論というのは、議員間では見られていないというのが現状です。何か出てくるようでしたら、適切に扱ってまいりたいと思います。

(愛媛新聞)

ちなみに副議長はこれについては、どのように。

(副議長)

同じ立場ですから、徳島県のことについてコメントする立場にはありませんし、県議会としてどう取り扱うかというのは、ご案内のとおりいろいろな意見をお持ちの議員がおられる県議会ですので、議会の中での議論を見ていきたい思います。

(時事通信社：幹事社)

その他ございますか。

(あいテレビ)

6月議会前に委員会でいろんなところに出かけて視察されたと思いますが、その成果の受けとめがあれば、よろしくお願いいたします。

(議長)

県内視察ということで、各委員会、それぞれ頑張ってやっていただいたところです。外に出て行き声を聞くということもやらないといけないが、ちょっとテーマから逸れませんが、県内視察でこの10年間「地域の声を聴く会」というのをやってきました。いろんな角度で地域の声を聞いた中で、この地域ではこういう事情があり、こんな問題意識があるというのがわかってきたところです。

そんな中で、10年経つこともあり、今回、議会改革で見直し、新たな形で、よりよいものにできないかということを経済改革協議会の座長に諮問させていただきました。できれば、来年の県内視察の時期には、どうやって県民の声を新しいよりよい形で聞くかということに、一定の結論が出て、新しい取り組みを始められる、ちょうどその境目にあたる今回の委員会だったというふうに思っています。

それと、各委員長さんや主だったメンバーからお話を聞いて、私が所感として抱いたのは、令和6年度の当初予算は、知事の公約が、総合計画に色濃く盛り込まれて、それがスタートしたところの計画ということ、また、今コロナ禍から、どう出ていくか、そ

して経済をどう強くしていくか、防災・減災対策、どんなふうに力強くやっていくかという中において、新しい総合計画のもと、とりあえず3ヶ月やってきて、この間の2月定例会で議論したこと、そこにどういうふうに今、議会として取り組んでいけばより磨きがかかるのか、逆に言うと、このままやるのではなく、もうちょっとこういうふうに入手を入れましょうとか、ここは今年度中に反映させるべきだという熱のようなものが、各委員長さんたちからは伝わってきたなという所感を持っています。

(あいテレビ)

ありがとうございます。

(時事通信社：幹事社)

終了時刻が近づきましたので、次の質問で最後の質問とさせていただきます。他ありますでしょうか。

特段なさそうですので、以上で、正副議長の記者会見を終わります。

※議事録については、読みやすさや分かりやすさを考慮し、発言の趣旨等を損なわない程度に整理しています。